

日本ユーラシア協会 未公開ロシア名画上映会

つばさ

КРЫЛЬЯ

2011年

2月26日(土)14:00開会

会場

日ソ会館2F

世田谷区経堂1-11-2 ☎ (03) 3429-8231
主催・問い合わせ先 日本ユーラシア協会

会費 500円(日本ユーラシア協会会員 300円)

女主人公のペトルーヒナは、第二次世界大戦のさなかに青春を送った。町の飛行クラブに所属していた彼女は、戦闘機に乗って活躍し、英雄となった。戦後は町の名士として順調にキャリアを積み、職業訓練学校の校長となり、さらなる出世の道も見えかけている。しかし、ジョークを言っても周りは笑わずに気まずい雰囲気になってしまうし、学校の生徒たちも、職場の人間関係も悩みの種。私生活では娘との不仲に心を痛めている。主人公は自分の心が青春のみずみずしさを失い、硬直しつつあることを自覚していく。そんな主人公にとどめを刺すのが、小学生の何気ない一言だ。博物館の戦場の英雄たちをたたえるコーナーで、若き日のペトルーヒナの写真を見て、「この人も死んだの」……。主人公は、周囲との関係を見直し、青春の日の記憶をたどりながら、老いという現実の中でささやかな「人間回復」を試みる。

ソ連映画史で異彩を放つ女性監督ラーリサ・シェピチコの若き日の秀作。

1966年/ソ連/85分/ビデオプロジェクターによる上映、日本語字幕付き
出演=マイヤ・ブルガーコワ、ジャンナ・ポロトワ、セルゲイ・ニコネンコ/監督=ラーリサ・シェピチコ
/脚本=ワレンチン・エジョフ、ナターリヤ・リャザンツェワ/撮影=イーゴリ・スラブネヴィチ/音楽=ロマン・レデネフ/美術=イワン・プラスチンキン/提供 エイゼンシュテイン・シネクラブ(日本)

